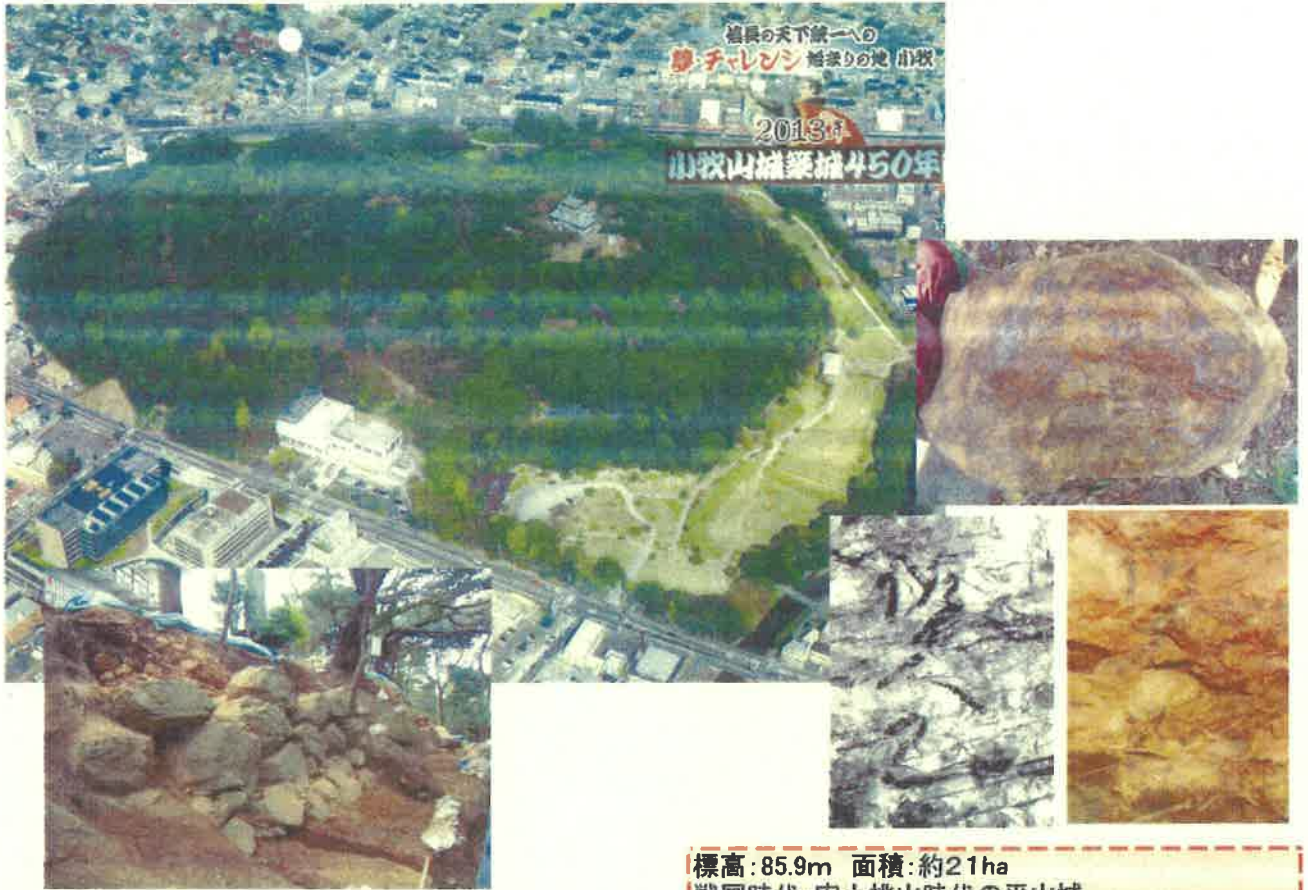


# 史跡小牧山の整備について



## 国指定史跡 小牧山の沿革

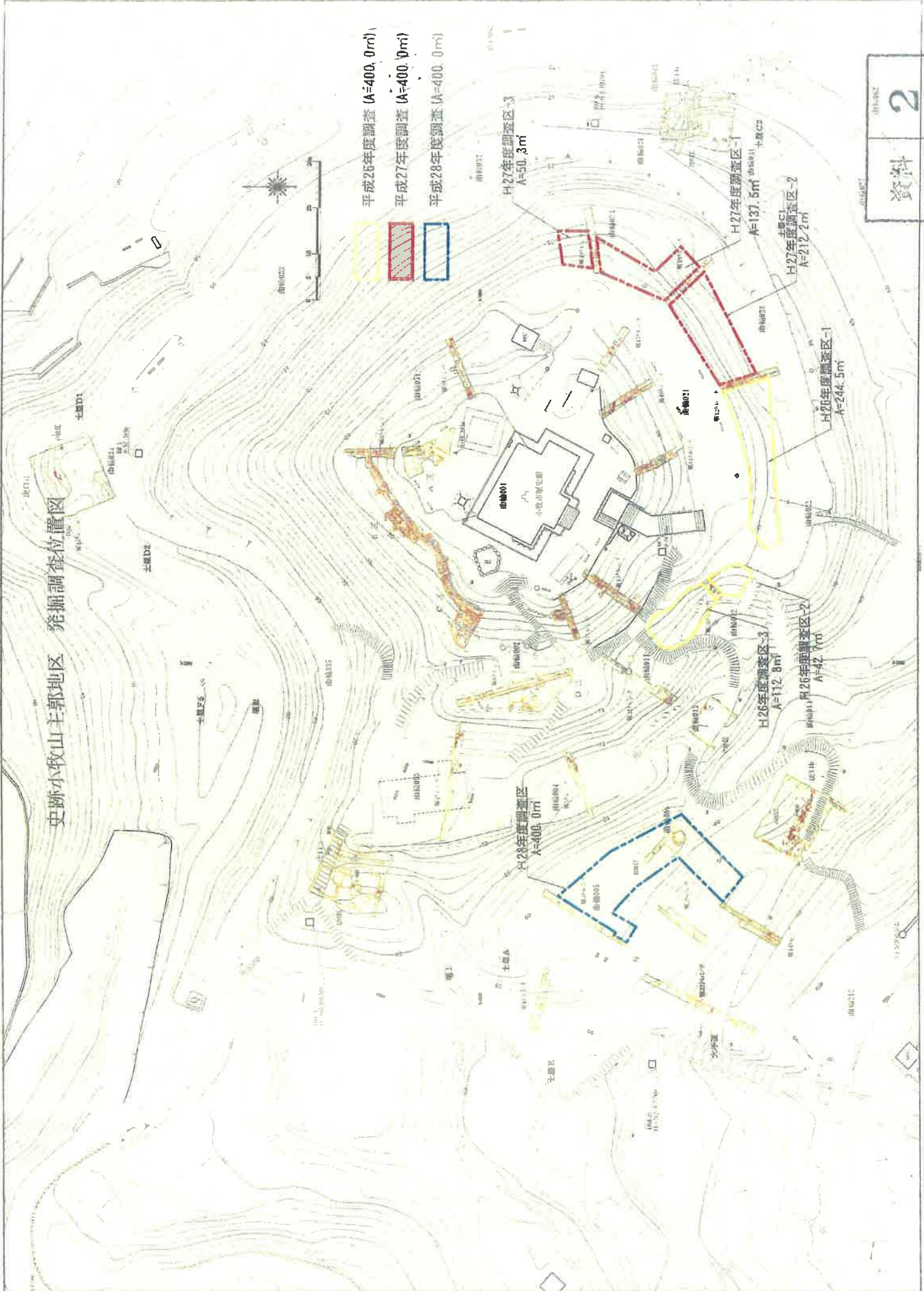
標高: 85.9m 面積: 約21ha  
 戦国時代・安土桃山時代の平山城。  
 山中には現在も堀・土塁・虎口・曲輪・石垣などの城郭遺構が良好に遺存。戦国三英傑(信長・秀吉・家康)全てが関わる城としては全国でも稀少。

戦国時代	1563 永禄6	織田信長が小牧山城を築き、清須から居城を移す
	1567 永禄10	信長、美濃の斎藤氏を攻略し居城を稲葉山城(岐阜城)に移す。小牧山城は廃城となる。
安土桃山時代	1584 天正12	小牧・長久手の合戦で徳川家康・織田信雄連合軍が陣城として改修
江戸時代		尾張徳川家により神君家康公ゆかりの地として一般の入山を禁止し大切に保護される
昭和	1927 昭和2	国の史跡に指定される(愛知県内で3番目)
	1930 昭和5	尾張徳川家から小牧町に寄付される
	1968 昭和43	小牧市歴史館開館
平成		平成10 『史跡小牧山整備計画基本構想』策定
		平成16 旧小牧中学校用地を史跡公園として整備 主郭地区試掘・発掘調査開始 (現在も継続中)
	2010 平成22	主郭地区発掘調査で信長築城時の大規模な石垣・墨書石垣石材を確認 近世城郭が安土城(1576)から始まるという定説を塗り替える発見となる
	2011 平成23	主郭地区整備スケジュールの一部見直し(調査3年延長、整備工事延期)
	2012 平成24	市役所新庁舎竣工、史跡外へ移転

史跡小牧山 整備スケジュール

年度	主郭地区整備				整備工事	本庁舎跡地整備		(仮称)史跡センター整備			
	発掘調査	基本計画	実施設計	整備工事		委託	旧本庁舎	史跡整備	史跡センター	県の内体育施設	創垂館
23	第4次						基本計画策定				
24	第5次										
25	第6次						復元整備工事 実施設計(その1)	解体設計			
26	第7次						復元整備工事 実施設計(その2) ガイダンス施設設計	庁舎解体			
27	第8次		Aゾーン修正 A-1工区				復元整備工事(基盤整備)				
28	第9次		A-2工区 A-3工区	A-1工区			復元整備工事(本工事) ガイダンス施設建築工事				
29	第10次		E-1工区	A-2工区 A-3工区							
30	第11次			E-1工区							
31	第12次										
32	第13次										

史跡小牧山主郭地区 発掘調査位置図





資料 3-1

小坂山麓史館  
曲輪001

A-1区

A-3区

D区

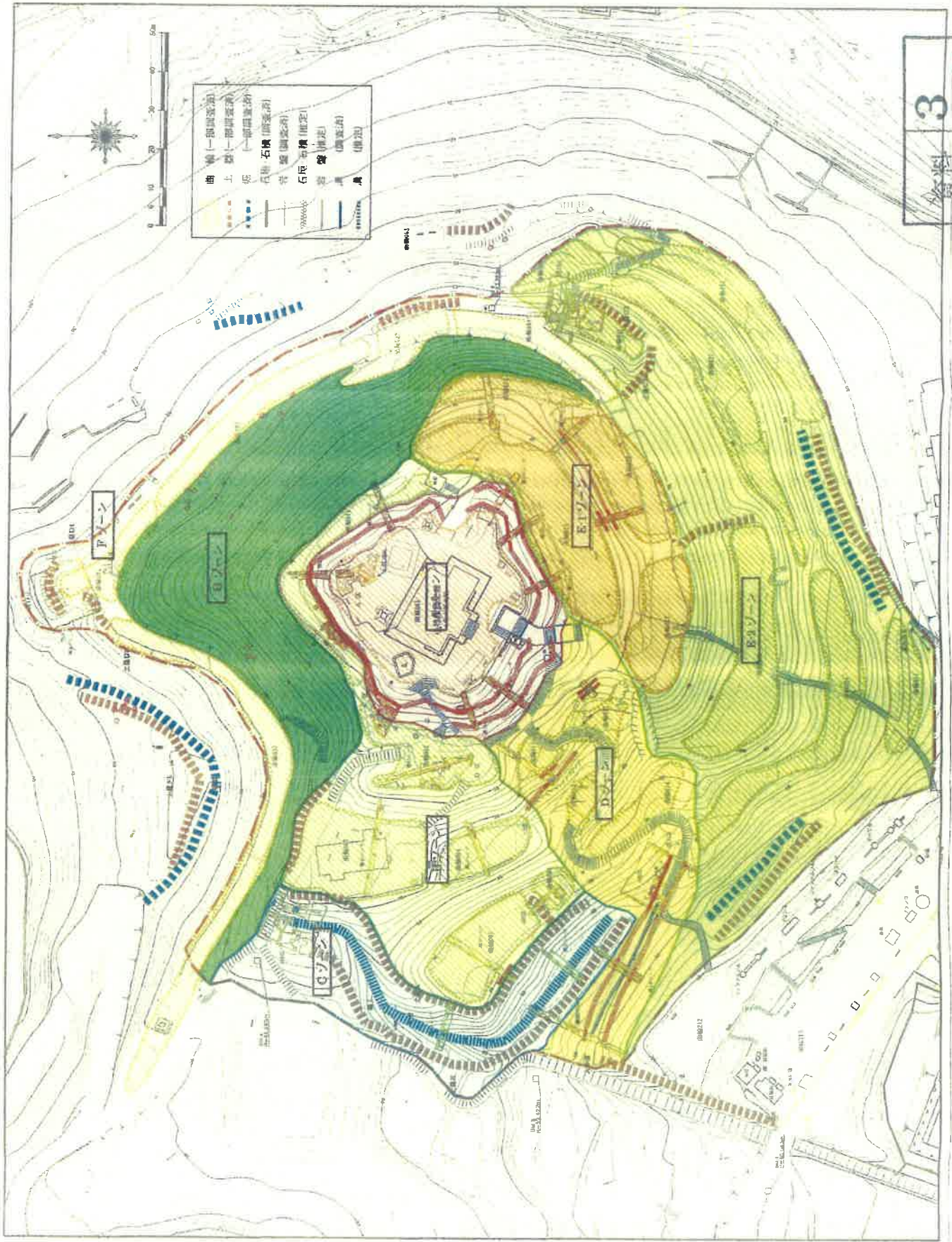
土塁A

土塁C2

土塁C1

07

■ゾーニング計画図



資料 3-2



# (仮称)史跡センター整備スケジュール

千円

年度	全体 (面積≒6,000㎡)	史跡整備	史跡センター (面積≒1,000㎡)	展示	堀の内体育施設 解体	創垂館移築
平成26年度	基本構想策定 (≒6,000㎡)					
平成27年度		基本計画	基本設計		解体工事設計	
平成28年度		整備実施設計	史跡センター実施設計	展示設計	解体工事 工事監理	移築復元設計
平成29年度		史跡整備工事 工事監理	史跡センター建設工事 工事監理	展示委託(工事)		移築復元工事 工事監理
平成30年度						
平成31年度						

は国庫補助対象



史跡小牧山 旧小牧中学校用地整備基本計画 鳥瞰図